

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
佐賀県佐賀市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前 職】
NPO職員
【活動時期】
R2.10～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

災害支援をおこなうNPOの職員として6ヶ所の支援活動に関わりました。被災地域の復旧、復興は短期間では答えが出ません。しかし、被災地域外から支援に入る外部団体として活動の区切りがあることに違和感を感じていました。そんな中、令和元年佐賀豪雨の支援で大町町と武雄市で活動しました。その後、大町町が継続した被災者支援の担当として協力隊を募集する事を聞き、協力隊という行政側としてこれまでと違う立場で防災に関われる事や地域と一緒に復旧・復興に取り組むみたいと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

災害が発生すると、避難所の設置・運営、人命救助、り災証明の発行など各種手続き、災害廃棄物の受け入れ、仮設住宅の手配など行政が対応する支援は多岐にわたります。しかし、このような事に平時から具体的な対応を検討することは難しいと感じます。このような課題を解決するためには、行政内にも防災の専門家を配置すべきと思い、防災コンサルタントとしてBCPなどのハード面ではなく、自治体職員の災害に係る制度認識向上や自主防災組織や地域ボランティア・NPOとの連携調整など発災時に必要になってくる地域防災力向上に向けて行政と一緒に取り組む体制を作りたいと考えています。

活動内容

●被災者からの相談対応、見守り支援

R元年の災害発生時より、みなし仮設住宅の入居者へのフォローや家屋改修後のカビ消毒などの対応を実施。また、生活再建支援金などの公的支援の説明や申請サポート、体調面など気にかかる方がいれば保健師や担当部署に情報を共有し対応頂くなど、住民と行政の橋渡し役として活動。



●発災時の災害対応コーディネーション

協力隊着任1年目のR3年8月に豪雨災害が発生。NPO職員時代の支援者との繋がりを活かし、支援活動を実施。定期的な情報共有会議を行い、地域住民、社協、行政や県内外の支援団体の活動を調整。被災者ニーズを汲み取り各セクターの専門機関に繋ぎ対応頂くなど現地コーディネーターとして活動。



●地域防災力向上

行政やNPOと連携し、地域住民を対象とした、防災講座、避難所の設置体験会など防災・減災啓発活動を実施。また、発災時に協力頂いた地域住民や民生委員との繋がりを活かし、行政と連携した避難所運営の協力体制構築など進め、地域防災力向上を目指し活動。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0952-82-3111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/omachi.chiikiokoshi>